

令和6年度 津久井支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
セクハラ・わいせつな行為の禁止	わいせつ・セクハラ行為の問題について、理解を深め、未然の防止に努める。	あらゆる場面において、常に人権を意識した行動がとれるように取り組んだ。特に人権研修でのセクハラ防止や、管理職が主導して実施したわいせつ防止に向けた職員研修を実施したことで、これらの根絶に向けて意識向上を図った。
体罰・不適切な指導の防止	児童・生徒の人権を尊重し、不適切な指導の未然防止に努める。	職員全員に不適切な指導が無いよう指導とともに、管理職が校内巡視を行い、児童・生徒との関わり方等の把握に努めた。また、職員の個人面談等を通して児童・生徒の人権尊重や各自の指導に対する振り返りを行い、未然防止に努めた。
個人情報の適切な取扱い・情報セキュリティ	個人情報の安全な運用・管理とセキュリティ対策に努める。	朝の打ち合わせや職員会議の時間に「パスワードの変更方法と管理」「データ整理と削除」等の研修や呼びかけを行い、職員一人ひとりがルールを守り、個人情報の管理にあたれるようにした。
適切な私費会計の取扱い	公費・私費会計の適正な管理・執行を行う。	会計担当が私費会計マニュアルをこまめに改訂し、その内容について朝の打ち合わせや職員会議で全職員に周知した。そして計画的な予算執行を呼びかけ、不正執行の防止に努めた。
飲酒運転の根絶	交通法規を遵守し、交通事故の防止に努め、公務外の運転にも意識を高める。	長期休業中や年末年始等の飲食機会が増える時期に研修を実施し、飲酒運転根絶に対する意識向上を図った。また、季節や地域柄を考慮し、自家用車等による交通事故防止について呼びかけ、事故防止に努めた。
入学者選抜の事故防止	個別教育計画・進路関係・入学者選抜等に関する書類を適正に作成・保管・廃棄する。	担当者が複数回、書類等の確認を念入りに行なった。また、試験担当者の人選や、要項等の書式の整理、入選当日の時程等の確認を担当任せにせず、管理職も加わり、書類の適切な作成や管理とともに、試験当日に円滑な運営ができるように努めた。
コンプライアンス意識の醸成	公務員として、時間を問わず規律を守った行動をする。	朝の打合せ時や個別の面談等で、教職員が高い倫理観を持ち、校内外において教育公務員として常に自覚と責任をもって行動するよう、意識啓発を図ることができた。
風通しの良い職場づくり	職員同士が同僚性を高め、円滑なコミュニケーションを図る。	長期休業中に実施した、ワールド・カフェ形式の職員研修や、教科会議等、学部の垣根を超えた職員同士が意見を言う場を設けたことで、お互いをより理解する機会となった。こうした取組により、同僚性を高めるとともに風通しの良い職場づくりにつなげた。

○令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

毎月の職員会議の時間に、職員に分担させ、パワーポイント等の資料により不祥事について自分事となるよう考えさせるとともにその防止に努めた。令和7年度は、更に職員研修を充実させ、職員間の同僚性を高めたい。また、働き方改革の工夫と改善については、「会議の持ち方」や「職員各自が設定するノー残業デー」等、具体的な取組に着手し、職員のストレスや多忙感の低減を図り不祥事の未然防止につなげたい。